

当社では、沿線価値を向上させ多様化するお客様のニーズに柔軟かつ迅速に対応するとともに、暮らしに密着した良質なサービスを創造し、暮らしやすく訪れたい街づくりを目指しています。日常生活と密接に関連したサービスを創出していくために、全社一体となって事業の創造・推進を図っています。

1 貸貸事業

百貨店・ストア・駅ビル等の商業施設、オフィス、マンション、ホテル・スポーツクラブ等のレジャー施設、倉庫等の業務施設など、多様な用途の建物を建設、保有、賃貸、運営して沿線を中心とした地域の皆様の暮らしの豊かさを提案するとともに、東武グループの事業展開をアセット面から支えています。

2 分譲事業

当社沿線における定住人口増加を目的に草加市松原、春日部市南桜井などで分譲マンションの建設・販売を行っています。また、沿線及び沿線外に所有する多くの当社用地の活用を図り、野田市清水公園、久喜市南栗橋等で分譲戸建・土地の販売を行っています。さらに、保有地以外にも沿線及び沿線外における用地取得も行いながら、ターゲットに合う分譲事業を行っています。

3 まちづくり事業

地域とともに地域の魅力を発見し、その魅力を活かしたまちづくりの推進や情報発信に加え、社会的ニーズに適応した事業の推進を通じ、お客様に質の高い生活を提供し、地域社会の持続的な発展による個性あふれる沿線づくりを行っています。

その他、駅前の再開発計画など、当社沿線の各地でコミュニティの豊かさが息づく街づくりに、地域の皆様とともに取り組んでいます。



東京ミズマチ[®]



ソライエ清水公園アーバンパークタウン ソライエひろば

2006年3月、墨田・台東エリア（業平橋・押上地区）の当社用地が新タワーの建設地として正式に決定して以降、当社では、同地区（約3.69ha）において、東武沿線の価値向上や東・東京エリアの活性化に大きく寄与する東京スカイツリー[®]を中心とした大規模複合開発プロジェクト（Rising East Project）を推進し、2012年5月22日、東京スカイツリータウンをグランドオープンしました。

開業13周年を迎え、引き続き積極的な出店者の入替えや魅力溢れるイベントを実施し、ご来場いただいたお客様が楽しさや喜び、感動を体験できる施設となるよう取り組んでいます。



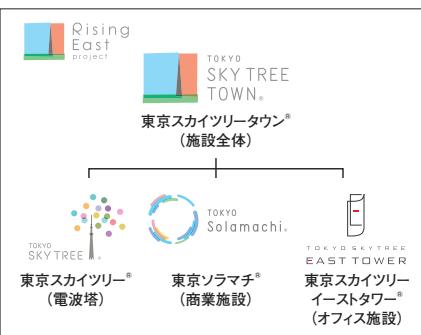
©TOKYO-SKYTREETOWN

2024年11月7日より「ソラミ坂」「ハナミ坂」の階段をLEDグラフィカル照明でライトアップする「階段グラフィカルライティング」の点灯を開始しました。

東京スカイツリー[®]の通常ライティング「粋」「雅」「幟」に連動したデザインの他、新しいコンテンツを追加することで、シーズンごとの特別なライトアップなどもお楽しみいただけます。

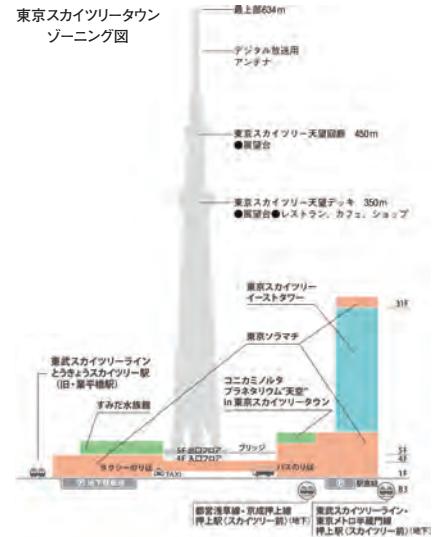
● 東京スカイツリータウンの構成

とうきょうスカイツリー駅（旧・業平橋駅）と押上（スカイツリー前）駅をつなぐ東西長さ約400m、広さ約3.69haの「東京スカイツリータウン」は、東京スカイツリーを中心にエンターテイメントや文化機能を持つ商業施設「東京ソラマチ[®]」とオフィス施設である「東京スカイツリーイーストタワー[®]」などにより構成されています。これらの施設は防災機能などを備えることで、周辺エリアと連携した賑わいのある街づくりや、地域の活性化を目指しています。また、環境経営への取り組みとして緑化や雨水利用、地域冷暖房を導入しており、国土交通省の省CO₂モデル事業にも採択されています。



[タワーの高さ]
634m

[施設の内容]
展望施設
東京スカイツリー天望デッキ
(レストラン、カフェ、ショップ)
東京スカイツリー天望回廊
放送施設等



東京スカイツリータウン®事業

◎ 東京スカイツリー®（電波塔）

東京スカイツリーは電波塔として、人々の生活を支える社会インフラ機能を果たし続けるとともに、観光面では国内外からのご期待にしっかりとお応えできるよう「安全・安心」を第一に考えた盤石な運営体制でお客様をお迎えし、「世界一愛されるタワー」を目指しています。

● 東京スカイツリーライティング

江戸で育まれてきた心意気の「粋（いき）」と美意識の「雅（みやび）」、古来より縁起の良い色とされてきた橘色（橙）を基調とした「幟（のぼり）」が1日毎に点灯します。「粋」「雅」「幟」の他にも、イベントや記念日、クリスマス等に特別ライティングを実施しています。

2020年2月にはライティング増強工事が完了し、さらなる輝きと躍动感あふれる演出が加わりました。

◎ 東京ソラマチ®（商業施設）

「東京ソラマチ」は、「人と人とのつながり」を大切にしながら、ものづくりの伝統、優しさ、賑わいなど「下町の魅力」がちりばめられた商業施設です。ファッション、スイーツ、レストランなどバラエティ豊かな300以上の店舗で構成されており、沿線や地域のお客様はもとより都内近郊にお住まいの方から日本全国、海外からお越しの観光の方まで、幅広い方々に楽しんでいただける施設となっています。今後も新しいライフスタイルや下町ならではの魅力を発信し続けます。

東京ソラマチ概要
 (イーストヤード) 地下3階～10階、30・31階
 (ウェストヤード) 1階～5階
 (タワーヤード) 1階～3階
 施設規模
 (SC面積) 約52,000m²
 主要業種 物販店舗、飲食店舗、サービス店舗等



● 最高高さ 634 m

東京スカイツリーの高さは、プロジェクト当初は「約610m」としていましたが、世界各地で高層建物が計画、建設されている中で、自立式電波塔として高さ世界一を目指し検討を重ね、634mに最終決定しました。

634mという高さの数字を決定するにあたり、世界一のタワー、地域のシンボルであるタワーとして覚えやすく、ふさわしいものが良いと考え、東京スカイツリーの立つ地域が旧国名で武蔵国（東京・埼玉・神奈川の一部を含む広大な地域を指す）と呼ばれていたことから、634（ムサシ）mとなりました。

高さ634mの東京スカイツリーは2011年11月17日に、ギネスワールドレコーズ社より世界一高いタワーとして認定されました。



公式キャラクター
ソラカラちゃん
©TOKYO-SKYTREE

◎ 東京スカイツリーアイーストタワー®（オフィス施設）

東京スカイツリーアイーストタワーには、総貸室面積約7,700坪のオフィス空間を用意しました。基準階フロアは約450坪を確保した無柱空間が広がります。貸室は約17mから約12mの奥行を持ち、柔軟なオフィスレイアウトを可能としました。

押上駅コンコースに直結するエレベーターホールには、地上12階のスカイロビーへ向かうシャトルエレベーターを4基設置し、2021年からは、12階オフィス会議室を一般の法人にも貸し出しを始め、会議や研修、検定など幅広くご利用いただけるようになりました。

東京スカイツリーアイーストタワー概要
 (イーストヤード) 12階～29階
 施設規模 約25,500m² (約7,700坪)
 主要用途 オフィス



東京スカイツリーアイーストタワー
©TOKYO-SKYTREETOWN

● 東京スカイツリータウン エコの取り組み

1. 地域冷暖房システム

東京スカイツリータウンでは、タウン全体の冷暖房を集中して行う最新の地域冷暖房システムを導入しています。夜間に作った冷水・温水を昼間利用することにより、昼間のピーク時の電気使用を抑制します。さらに日本の地域冷暖房システムで初めて地中熱を利用してお、効率よく冷水・温水を製造しています。これらにより、国内最高レベルの省エネ・省CO₂効果を発揮しています。以上の取り組みが評価され、2017年3月2日に東京都環境確保条例において、「優良特定地球温暖化対策事業所（トップレベル事業所）」として認定されました。

2. 太陽光・雨水利用

東京スカイツリータウンには合計222枚の太陽光パネルが設置されており、この太陽光パネルにより約20kWの発電がされます。また貯まった雨水を植栽への散水に利用しています。



メインプラント



トップレベル事業所認定証

当社では、関東初の本格的な駅ビルとして1931年に誕生した浅草駅ビルをはじめ、百貨店・駅ビル等の商業施設、オフィス、マンション、ホテル・スポーツクラブ等のレジャー施設、倉庫等の業務施設など、多様な用途の建物を建設し、賃貸事業を展開しています。

近年では、市場の環境変化、テナントニーズの変化に対応するため、保有資産の活用や新規用地取得による建物建設、稼働率の低下した既存物件の建替え、大規模修繕等を通じて、賃貸事業の維持、強化を図っています。

引き続き、賃貸事業を通じてお客様の利便性を高め、環境にも配慮した安心・安全で付加価値の高いサービスを提供することにより、暮らしやすい街づくりを実現していきます。

■ 建物賃貸事業

主要賃貸物件

物件名	延床面積(m ²)	主な用途	所在地
東京曳舟病院	9,683	病院	東京都墨田区
東武アネックスビル	9,193	店舗・事務所	東京都豊島区
東武豊洲ビルB棟	5,078	電気通信機器施設	東京都江東区
東武銀座第1ビル	4,053	店舗・事務所	東京都中央区
竹ノ塚東口駅前ビル	4,039	アミューズメント施設	東京都足立区
北越谷東口ビル	4,853	フィットネスクラブ・店舗	埼玉県越谷市
宮代倉庫	7,884	倉庫・事務所	埼玉県南埼玉郡宮代町
宮代建物	3,443	セレモニーホール	埼玉県南埼玉郡宮代町
柏駅ビル	47,619	百貨店	千葉県柏市
宇都宮東武ビル	54,736	百貨店	栃木県宇都宮市
西参道茶屋	157	店舗	栃木県日光市
東武横浜第3ビル	10,651	店舗・事務所	神奈川県横浜市
厚木配送センターA棟	4,959	倉庫・事務所	神奈川県厚木市
東武仙台第1ビル	7,617	店舗・事務所	宮城県仙台市
仙台ロジスティクスセンター	17,408	倉庫	宮城県仙台市



東武豊洲ビルB棟



東京曳舟病院

賃貸事業の中でも駅ビジネスでは、圧倒的な集客力を持つ「駅」を最大の経営資源と位置付け、これまでの移動手段としての側面を保つつつ、日常的な生活サービスの提供場所として、駅及び駅周辺の立地を有効活用し、収益の拡大を図るとともに、沿線価値を向上させ、魅力ある空間づくりを目指しています。主として、当社直営のショッピングセンターを運営する駅ビル事業、駅舎を中心とした駅ナカ店舗事業、駅構内のさまざまなスペースを活用して商品を販売する構内営業事業等に分類されます。

■ 駅ビル事業

当社直営の地域密着型ショッピングセンターとして、沿線の主要駅において「エキミセ」「ヴァリエ」などの名称で展開しており、地域の情報発信基地としてお客様に親しまれています。2024年度には新越谷駅直結の商業施設「新越谷ヴァリエ」のうちファッショングループが中心の2階、3階エリアをリニューアルオープンしました。今後、駅ビル事業においては、ファッショングループ・日用雑貨から菓子・惣菜・生鮮食品にいたるまで、バラエティに富んだショップを展開、さらに沿線初出店や新業態のショップを誘致し、トレンドやお客様のニーズに応えてまいります。

主要直営ショッピングセンター



●新越谷ヴァリエ



●草加ヴァリエ



●エキア プレミエ 和光



●トーブイコート

駅ナカ店舗事業

多くの人が行き交う「駅」を魅力的で便利な場所にするため、お客様のニーズに対応した店舗の新設及び既存店舗を活用したショップの入れ替えを行っています。

特に新設店舗については、単に駅の遊休スペースに建設するのではなく、駅設備や店舗の配置換え及び駅の構造見直しを図ることにより、まちに開かれた駅空間を目指し、効果的に駅空間を活用できるよう計画しています。

また、ショップの選定にあたっては、駅それぞれのエリア特性、ニーズやトレンドに合った店舗の導入を基本とし、沿線初出店となるショップを積極的に誘致するなど、賑わいと目新しさのある駅空間の創出に努めています。

現在、計17駅の駅ナカ施設を「EQUIA（エキア）」ブランドとして展開しています。今後も「モットタノシイエキハ」をキャッチフレーズに積極的にブランド化を推進していきます。



エキア 越谷



エキア 竹ノ塚

構内営業事業

自動販売機、銀行ATM、証明写真機、催事営業など、駅構内のスペースを効率的に活用するのが構内営業事業です。特に催事営業は、専用のブースや什器を使用し、出店の要件を簡素化させ、1週間から2週間といった短期間で営業を行うため、収益性の高い事業であるとともに、クリスマスやバレンタインデーなど時節に合わせたショップを誘致することができるため、ご利用のお客様からもご好評いただいている。また、新たにネットショッピングの普及に対応する宅配ロッカーや、テレワークニーズに対応するスマートワークブース等の設置も行っています。

電子マネー事業

2007年3月18日より、「PASMO電子マネー決済サービス」を開始し、お客様へのサービスと利便性の向上を図っています。

2013年3月23日からは、PASMO他交通系ICカードの全国相互利用サービスが開始となり、これにより全国の各交通系ICカード加盟店で、電子マネーによるショッピングが可能となりました。

また、「東京スカイツリータウン®」「ヴァリエ」「エキア」等の商業施設や飲料自販機等の他に、コインロッカーにもご利用いただけます。今後も、サービス対象箇所の拡大を進めていきます。

当社の広告事業は、電車広告や駅広告、バス広告といった交通事業に関係するメディアと、大型ビジョンやフラッグ広告など東京スカイツリータウン®内のメディアを取り扱っています。交通広告は、沿線地域に密着したその媒体特性から、多くのスポンサーやお客様から注目を集めています。

スカイアリーナビジョン
(東京スカイツリータウン)

りょうもう『カルピス』EXPRESS

電車広告

電車の広告には、中づりポスター、まど上ポスター、ステッカー類などがあります。このほかにも同一路線で電車1編成すべてに掲出する「広告貸切電車」は、注目度の高い媒体です。

また、2020年には東京メトロ日比谷線直通車両（7000系）、東京メトロ副都心線・有楽町線直通車両（50070型）の全編成、2025年には東武アーバンパークライン（80000系）に「東武トレインビジョン」を導入しました。視認度の高い電車内において動画配信が可能になる等、更に効果的な広告訴求を実現、クライアントニーズに応えています。

公益社団法人東京屋外広告協会が主催する「東京屋外広告コンクール」において、アサヒ飲料株のカルピスをイメージしたカラーリング「りょうもう『カルピス』EXPRESS」が東京都知事賞を受賞しました。

駅広告

駅の広告には、駅ばりポスターやポケットボード、看板等があります。池袋駅や柏駅等、多くの乗降人員を誇る主要駅では大型ポスターなどなどを展開、また駅名標板に沿線の施設名称等を入れた「副駅名称」を媒体として導入しており、地域の方にも親しまれています。

バス広告

当社では、東武グループバス各社より委託を受け、地域に密着した広告塔として、また暮らしのニーズに対応できる媒体として、ラッピングバスや車内ポスター、窓ステッカー等のバス広告を取り扱っています。

東京スカイツリータウン広告

2020年3月に大型化・高性能化工事を行ったデジタルサイネージ、フラッグ、壁面シート等の広告媒体や、「スカイアリーナ」をはじめとする多彩なイベントスペースを組み合わせるメディアミックスにより、多くの来場者に効果的なアプローチを実現しています。

特殊広告

スポンサーの希望する場所や時期に合わせて設置する特殊広告には、大型ステッカーを壁や床に貼付する「クロス広告」「フロア広告」、駅の柱巻き広告「アドピラー」、天井から吊り下げる「フラッグ広告」等があります。さらに動画の放映が可能なデジタルサイネージの設置を推進しており、多面デジタルサイネージ「東武サイネージピラー」を当社の2大ターミナルである池袋駅・北千住駅に、また屋外大型ビジョン「浅草東武ビジョン」を浅草駅ビル壁面に設置し、広告媒体としての利用に加え、浅草・東京スカイツリータウンを始めとした当社沿線の情報を発信するなど、幅広く活用しています。通行されるお客様への認知度も高く広告訴求の高い媒体です。

分譲・賃貸住宅事業

当社では、沿線価値向上、住みやすい沿線づくりを目指し、お客様の価値観やライフステージの変化に合わせ、各世代のニーズに応えた「住みごこちのよい住まいの提供」や「子育て施設の誘致」など、沿線のお客様の暮らしを支え生活の利便性を高める住環境の整備を進めています。

暮らしのブランド「Solaie（ソライエ）」 <https://www.solaie.jp/>

新規で展開していく分譲住宅の情報を有機的にお客様へ発信し、沿線に住む誇りと、事業を通じた企業・沿線イメージの向上を図ることを目的に「空のように、ここちいい未来。」をイメージコンセプトとして、2012年、分譲住宅の共通ブランド「Solaie（ソライエ）」を立ち上げました。

また、2018年より、新たに賃貸マンションブランド「Solaie I'll（ソライエイル）」を立ち上げるなど、「Solaie」は、暮らしに関わるトータルブランドとして成長しています。

これまでの「Solaie」ブランドの分譲住宅は、現在分譲中の物件を含めて21物件、「Solaie I'll」ブランドの賃貸住宅は8物件です。



分譲マンション事業

分譲マンション事業では、沿線と都市近郊を中心に上質で独自性のある商品と品質の確保を図った分譲マンションの建設・販売を行っています。

ソライエテラス

埼玉県草加市 敷地面積30,361.90m² (9,184.47坪)

イースト 379戸 2023.3入居開始

ウエスト 417戸 2025.10入居開始予定

東武スカイツリーライン「獨協大学前<草加松原>」駅徒歩11分(イースト)～12分(ウエスト)。「北千住」駅14分、「秋葉原」駅30分、「大手町」駅38分と、都心への軽快なアクセスを叶えます。

本計画は、約540,000m²もの開発エリアの中心「環境調和型住宅ゾーン」に位置しており、豊かな自然と発展した都市の利便性が享受できる住まいです。



ソライエテラス

ソライエ南桜井

埼玉県春日部市 敷地面積5,120.25m² (1,548.87坪) 146戸 2026.3入居開始予定

東武アーバンパークライン「南桜井」駅徒歩4分。駅直結の東武スポーツやスーパー・マーケットなどの大規模商業施設が近接しており、生活利便性に優れた新築レジデンスです。

また、ターミナル駅の「春日部」駅まで2駅7分、「大宮」駅まで急行で4駅24分となっており、東武線の特急や新幹線も活用しやすい立地にあります。



ソライエ南桜井

建売住宅分譲事業

建売住宅分譲事業では、お客様のニーズにマッチした商品企画や魅力ある街並み形成により、街づくりの促進と沿線価値の向上を図るとともに、いつまでもお客様が輝き続けられる上質な住まいを提供しています。

ソライエ清水公園アーバンパークタウン

東武アーバンパークライン「清水公園」駅東口周辺で開発している「ソライエ清水公園アーバンパークタウン」は、「自然を感じる暮らし」「自分らしい暮らし」「コミュニティでつながる暮らし」という3つをコンセプトとし、東京から約30km圏内と通勤圏にありながら、自然環境を活かした、東武アーバンパークライン沿線における当社最大規模の分譲開発プロジェクトです。

2014年度の街びらきからこれまで約220戸の良質な住宅をお客様に提供しています。駅前の「ソライエひろば」を中心に豊かなコミュニティが育まれています。

BRIDGE LIFE Platform 南栗橋

東武日光線「南栗橋」駅周辺では、都心と自然の両方の魅力を享受できる立地を活かし、産官学連携のまちづくりを推進し、新しい生活様式に対応したサステナブルシティの実現を目指します。当社は、全172戸の分譲戸建事業(BLP南栗橋スマートヴィラ)に参画するとともに、エリア全体の街づくりを推進しています。



ソライエ清水公園アーバンパークタウン



BRIDGE LIFE Platform 南栗橋

賃貸マンション事業

当社沿線により多くの方々にお住まいいただくため賃貸マンションに加え、企業向け独身寮や社宅、学生寮を提供しています。今後も多くの方々に沿線にお住まいいただけるよう、多世代に向けた賃貸住宅を開発してまいります。

主な新規開発物件

施設名	戸数・店舗数	所在地	入居開始
ソライエアイル下赤塚	36戸・3店舗	東京都板橋区	2018年3月
ソライエアイル練馬北町	62戸・4店舗	東京都練馬区	2020年3月
ソライエアイル草加	97戸・1店舗	埼玉県草加市	2021年3月
ソライエアイル新河岸	41戸・5店舗	埼玉県川越市	2021年3月
ソライエアイル岩槻	42戸・4店舗	埼玉県さいたま市	2021年7月
ソライエアイル越谷蒲生	112戸・4店舗	埼玉県越谷市	2022年7月
ソライエアイル草加氷川町	44戸・4店舗	埼玉県草加市	2024年4月
ソライエアイルときわ台	69戸・2店舗	東京都板橋区	2025年3月



ソライエアイルときわ台

ソライエアイルときわ台は、共働き世帯の「健康で快適な暮らしのサポート」をコンセプトに、生活活動線に配慮した居室空間を提供し、共用部にはワークラウンジを設置しています。また、1階の店舗内には、地元健康総合企業と連携したカフェがオープンし、居住者の健康サポートに取り組むとともに、地域に開かれた交流の場となっております。

生活サービス支援事業

沿線にお住まいの方々が必要とする生活支援サービスを提供し、沿線の魅力を高めるとともに地域の活性化に寄与する事業展開を進めています。

● 子育て支援事業

「住みやすい東武沿線」を目指し、働く子育て世代を支援するため沿線の当社保有地に保育施設・学童保育室の誘致を進めており、駅チカ保育施設は合計19施設、学童保育室は合計3施設となりました。

引き続き、沿線自治体や関係者と協議のうえ施設誘致を進めるとともに、保育施設の行事への参加など様々な形で沿線住民の皆様の子育てを支援してまいります。

● 住み替え支援事業

2015年6月から、当社が一般社団法人 移住・住みかえ支援機構（JTI）の実施する「マイホーム借上げ制度」に参画し、シニア世帯（50歳以上の方）が所有する住宅を最長で終身にわたって借り上げ、子育てファミリー層などにリーズナブルな家賃で貸し出す「住み替え支援事業」を行っています。高齢化による住宅地での空き家が社会問題化している昨今、本事業を通じ地域・世代ごとのニーズに合わせた暮らしや住み替えにかかる提案を積極的に実施することで、東武沿線への人口流入の促進を図ってまいります。

また、2016年11月には埼玉県と相互連携に関する協定を締結し、県と連携した広報活動の実施や、「東武鉄道×埼玉県もっとずっとプロジェクト」を立ち上げ、物件のオーナーや移住希望者へ向けたイベント・セミナーなどを実施しプロジェクトの認知向上、沿線への住み替え促進に取り組んでいます。今後も行政と連携し、沿線地域の活性化を図ってまいります。

● サテライトオフィス事業

当社では、沿線にて職住近接の環境を整えることで、より暮らしやすい街づくりを目指して、郊外型サテライトオフィス「Solaie +Work（ソライエプラスワーク）」を開設しています。店舗型オフィスのほか、駅BOX型サテライトオフィス「EKI DESK（エキデスク）」を北千住駅などに設置しています。2022年9月より、それまで法人企業向けとしていた利用対象を個人に拡大するとともにTOBU POINTサービスとの連携を図りました。

今後も時間と場所にこだわらない働き方をサポートすることで、沿線のお客様の生活利便性を高め沿線価値向上を図ってまいります。



江戸川台保育施設でのイベント



もっとずっと
プロジェクトポスター



EKI DESK

まちづくり事業

地域と連携し、地域特性を活かしたまちづくりを推進しています。

■ 獨協大学前〈草加松原〉駅周辺エリア

獨協大学をはじめとした教育・文化施設のほか生活利便機能が集積する獨協大学前〈草加松原〉駅周辺エリアにおいて、東武グループでは住宅開発や駅ナカ商業施設の充実に加え、駅チカ保育園の誘致等の生活支援事業に取り組み、良質な住環境を目指し事業を進めております。

2023年3月には、商業施設「TOBU icourt/トープイコート」を開業、同月には、本エリアで4物件目となる分譲マンション「ソライエテラス イースト」の完成、2024年度にはまちづくりに携わる産官学での協定締結と戸建街区「ウェルバインドシティ獨協大学前」の分譲を開始しました。さらに、新しくお住まいになる方・学生・地域の方々をつなぐため、マルシェイベントの開催や交流拠点の施策といったコミュニティ活動を協働して実施するなど、商業・住宅開発と地域コミュニティ醸成を一体的に推進してまいります。



マルシェ「PICNIGOOD sokamatsubara」の様子

■ 浅草・東京スカイツリータウン®エリア

2大観光拠点である浅草・東京スカイツリータウンエリアの一体化に取り組んでいます。2020年6月には、官民連携により、水辺・鉄道高架下・道路・公園が隣接する立地を生かした一体的空間づくりを実現しました。当社は、鉄道高架下複合商業施設「東京ミズマチ®」を開業するとともに、隅田川橋梁に歩道橋「すみだリバーウォーク®」を設置しました。

2025年4月1日からは、本エリアの中間に位置する墨田区立隅田公園において指定管理者制度による管理運営を開始いたしました。引き続き、エリアの持続的な賑わいづくりを墨田区と連携し推進してまいります。



日本庭園の再整備が完了した隅田公園

■ 池袋駅西口地区

池袋駅西口地区では、駅とまちが一体となったまちづくりと新たな沿線価値の創出に向け、池袋駅西口地区市街地再開発準備組合による事業地区（約4.6ha）と、鉄道敷地部分を含む当社単独事業地区（約1.5ha）の2つの事業（合計約6.1ha）を一体的に推進しており、2024年度に都市計画決定されました。

引き続き準備組合や行政機関と連携し、池袋エリアの国際競争力強化を目指すとともに、東武グループの重要拠点の一つとして、沿線のシンボルとなる施設の建設・魅力ある用途の導入により、収益力の強化を図ってまいります。



駅まち結節空間